

会報

第15号

平成26年1月

あけだまり

一般社団法人
山形県老人クラブ連合会
〒990-0021 山形市小川町2-3-31 県総合社会福祉センター2階
tel (023)622-5601 fax (023)622-5606
ホームページ <http://www.kirara-yamagata.or.jp>
E-mail yrouren@poplar.ocn.ne.jp

新年のごあいさつ



一般社団法人山形県老人クラブ連合会
会長 白石 敏

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろより、高齢者の生きがいと健康づくりの推進につきましては、それぞれの地域において多大なるご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年本会は公益法人改革のなかで一般社団法人へ移行し、組織としても新たな段階に入り、会員加入促進キャンペーンの継続や若手委員会設置の整備、老連大学校（きららカレッジ）開校などを着実に展開しながら、その成果が少しずつ表れ期待されています。

今年は、特に、地域社会において高齢者同士のより良い豊かな生活環境をめざし、また健康寿命を伸ばし生涯現役の仲間づくりを広げていくために、新たな会員加入促進増強運動を計画しました。

達成に向けては、本会役職員が一丸となり、会員の皆様をはじめ市町村老連の協力を得ながら、地域におけるあらゆる関係機関団体とも連携し努力してまいります。

終わりに、本年も皆々様にとりまして明るく、幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



山形県知事 吉村 美栄子

新年あけましておめでとうございます。老人クラブ会員の皆さまにおかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本県におきましては、全国に先駆けて高齢化が進んでおり、県内の3分の2の市町村において高齢化率が30%を超えております。そのような中で、友愛活動や生きがいづくり、健康づくり運動など、老人クラブの地域に根ざした活動は、たいへん心強いものと感じております。今後とも、御活躍を期待申し上げます。

県といたしましても、「一人ひとりの尊厳と自立が得られ、活力に満ちた安心と喜びのひろがる長寿社会」の実現を目指して、福祉・保健・医療はもとより、住宅やまちづくりなど各分野にわたる取組みを引き続き進めて参ります。

本年が皆様方にとりまして実り多い一年でありますよう祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。





長寿社会イメージマスコット
きららちゃん

復活! 山形県老連大学校 きららカレッジ キャンパスライフ通信

「老連大学校の復活を!」の声にお応えして、山形県老連大学校(通称:きららカレッジ)が県内3地区で開校しました。
若手会員と女性会員の活動の場に、すぐに役立つ組織活動のあり方を求めて共に学び、それぞれの地域でリーダーを養成することを目的としています。

庄内校(鶴岡キャンパス) 開校9月25日/2回目10月7日/3回目10月24日/閉校11月7日

県内最初の開校が庄内校、受講者は期待に胸をふくらませ堂々の入学、何もかも手探りの状態で、みんなが協力しあい支え合うことを学んだ友愛のキャンパス。最終日には交流パーティーを開催することができ、共に学んだ仲間と語り合い大いに盛り上がりました。

「いつか同級会もしたいな～」という声も聞かれ、それぞれの地域で今後の老人クラブのヤングリーダーとして活躍されることを期待しています。



村山校(東根キャンパス) 開校10月15日/2回目11月12日/3回目11月27日/閉校12月6日



女性の受講生が多かった村山校、元気はつらつで和気あいあいと楽しく集うキャンパスライフがとても印象的でした。

健康づくりの授業では、東根市老連が推奨する「スカットボール」に挑戦、高得点を狙うもなかなか点数が取れないもどかしさ、でもボールが点数の穴に落ちたときの爽快感は格別のような感じでした。

最上校(新庄キャンパス) 開校11月15日/2回目11月21日/3回目12月4日/閉校12月11日

山形に初雪が降り始めたころに開校した最上校、寒さが厳しくなる中みなさん元気に通学しました。

老人クラブ保険に興味をもち、地域に帰ってさっそく保険の説明をした受講生もいるようです。

公開講座では多くの方が体験入学し、次回の老連大学校への入学希望者になっていただきたいです。



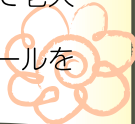
荒井先生の通信簿

老連大学校の担当者になり、各キャンパスの受講生のみなさんと出会い、共に組織運営や地域の高齢者活動について学べたことは私自身の人生においてもとても役立ちました。

老大を開催するたび、受講生や各開催地事務局のみなさんにご協力をいただいたことを心から感謝しております。

これからも元気で地域や老人クラブ活動で老大で学んだことを発揮してください。

私からみなさんへ感謝を込めて大きなエールを贈ります。



講座内容

分野	内容	単位数
総論基礎編	老人クラブの歴史・高齢社会の現状と活動の理解・地域活動の課題等	2
組織運営編	リーダーの役割・仲間づくり、会員加入促進の方法等	2
活動実践編	健康づくり・地域支え合い、グループ討議等	9
計	(1単位1時間)	13

総力を結集して 県内2万人会員増強を達成しよう!!

全老連では「老人クラブ活性化3か年計画」の全国市区町村老連アンケートの結果をふまえ、会員増につながる新たな活性化策を政策委員会において検討し、このほど新たに具体的な運動方針をまとめました。

これを受けて、本県ではこれまでも「プラス5人作戦」などをはじめ、独自に会員加入促進に向けた取り組みをしてきましたが、老人クラブを取り巻く環境は依然厳しく、会員数やクラブ数において減少化傾向が課題となっています。

一方、今後高齢社会が急速に進行するなかで、長年地域を基盤に高齢者自ら主体的に役割を担ってきた老人クラブへの期待が高まってきていることから、現在展開しています「会員加入促進キャンペーン」と合わせて運動目標を設定し次により取り組むことになりました。

趣 旨

- 本県の65歳以上人口が327,000人を超え、28%の高齢化率を占める中、老人クラブは、新たな仲間呼び掛け、共に基本理念である「4つの“づくり”」活動を目指します。
- そのため全国運動展開に合わせて、県内の老人クラブ関係者が総力を結集して、組織活動の基盤となる会員増強に向けてこの運動を推進するものです。

老人クラブが目指すもの(基本理念)

- 生きがいづくり：〈高齢期の充実〉—趣味・文化・レクリエーション等
- 健康づくり：〈健康寿命を伸ばす〉—健康学習・運動・体力測定等
- 仲間づくり：〈同世代の連帯・支え合い〉—例会・声掛け・友愛・親睦・旅行等
- 地域づくり：〈社会貢献〉—環境美化・リサイクル・ボランティア・世代交流等

運動期間

- 5か年計画(平成26年度～平成30年度)

運動目標

- 県内2万人会員増強(H25:5.8万人⇒H30:7.8万人)を目指す—

- ・目標設定1:年間およそ3%増で2万人!
- ・目標設定2:年間1クラブ3名純増で1.9万人!
- ・目標設定3:年間1市町村3クラブ(30名)の新設で1.9万人!

(※上記はいずれも5か年継続後の数値)

3つの 会員増強 運動

運動1:「勧誘から始めよう!」—会員一人ひとりが勧誘の担い手です—

- ・会員増強の成功例に共通するのは勧誘活動です
- ・運動スローガンを高年、女性、若手会員で実践しよう

運動2:「クラブをPRしよう!」—知られていますか、あなたのクラブ—

- ・自治会(町内会)活動にも参加し、地域で存在が知られるようにしましょう
- ・行政と連携して「介護予防活動」の輪を地域の高齢者に広げよう
- ・口コミ、ポスター、チラシ、会報、ホームページ等創意工夫して
- ・「いきいきサロン」はPRの場。運営にもかかわろう

運動3:「クラブをつくろう!」—すべての地域にクラブの設置を—

- ・自治会(町内会)と連携して未設置地域に老人クラブをつくろう
- ・解散の近隣クラブをホスト役に老連と連携してクラブを再生しよう
- ・高齢者の増加に伴い—地域に複数クラブの設置を目指そう
- ・高齢者の意向が多様化する中、新しいタイプのクラブを考えよう

市町村の動き

市町村老連50周年記念事業特集

11/11

酒田市老人クラブ連合会 松山支部

11月11日、松山農村環境改善センターにおいて、酒田市老連松山老人クラブ創立50周年記念式典・祝賀会が盛大に行われました。

記念講演では、卒業のない学校「樽石大学」(村山市老連会長)松田清男学長よりご講演をいただき、その後の式典、祝賀会も仲間と楽しく集いました。



11/12

金山町老人クラブ連合会

11月12日、金山町中央公民館において、金山町老人クラブ連合会設立50周年記念事業が開催され、式典では「設立50周年宣言」を採択し地域貢献と組織拡大を図ることを誓いました。

アトラクションでは音楽家池田美保さんを迎え、懐かしい歌が披露されました。また池田さんのピアノ演奏に合わせ参加者が口ずさみ会場は和やかな雰囲気包まれ楽しいひとときを過ごしました。



11/20

長井市老人クラブ連合会

11月20日、長井市民文化会館において、長井市老人クラブ連合会創立50周年記念式典・芸能大会が盛大に開催されました。

式典では、役員と会員のこれまでの功績を讃えられ、50周年記念特別表彰が授与されました。式典後は毎年行われる芸能大会を50周年記念事業として開催、歌や踊りで会場を華やかに彩る舞台となりました。



11/28

白鷹町老人クラブ連合会

11月28日、白鷹町パレス松風を会場に、白鷹町老人クラブ連合会創立50周年記念式典が行われました。

式典では、花柳流師範代花柳千優良さんより祝舞をご披露いただき、式典終了後の祝賀会では、会員の中から特技や趣味の発表として舞踊や歌、民謡など様々な出し物が行われ、会場の方々は華やかな祝賀ムードでお祝いをしました。



新春
プレゼント

山形方言かるた 第2弾

20名様に

YBC山形放送から「山形方言かるた第2弾」を寄贈いただき、県内単位老人クラブへは、楽しい集いにご活用されるよう市町村老連を通じて贈呈しました。さらに、会報「陽だまり」をご覧の方20名様にプレゼントします。

クイズ ○の中に数字を入れてください。

県老連が平成26年度から平成30年度までの5年間取り組む「〇万人会員増強運動」

応募方法

当選者の発表

あて先

はがき又はFAXでクイズの答え/ご住所/お名前/年齢/電話番号/所属単位クラブ名/をご記入の上、2月28日(金)まで(当日消印有効)下記あて先にご応募ください。

当選者の発表は、本会ホームページ並びに商品の発送をもって代えさせていただきます。

〒990-0021 山形市小白川町2-3-31/FAX (023) 622-5606
一般社団法人山形県老人クラブ連合会「新春プレゼント」係

編集後記 今年(うま)年、「物事が「うま」くいく」や将棋の駒でもおなじみの「左馬」など縁起の良い動物として親しまれる馬は、人間との付き合いが最も古い動物として知られています。自動車の無い時代に荷馬車で重い物を運び、遠くに行くときは人を乗せ共に旅をするなど人間の生活に欠かせない動物の馬、お互いの命を大事にする「支え合い精神」は必要不可欠です。人と馬がお互いを支え合うように、私たち老人クラブも仲間を大事にしてお互いの生活や活動を支え合う年にしたいですね(歩)